

## 令和6年度 第4回学校経営研修会 7/3

7月3日(水)、第4回学校経営研修会が行われました。開会の挨拶では、石田和義県小学校長会会長より、学校のリーダーシップについて二点お話がありました。一点目は、学校自身の主体的な判断で立ち止まり、これまでの取組を振り返ること、二点目は、職場での対話と連携協働を進めることが大切であると話されました。その中で、振り返るためには客観的なデータを丁寧に収集・整理・分析することが重要であるとも話されました。



また、教職員課、成長戦略室ウェルビーイング推進課、教育みらい室小中学校課教育力向上担当、児童生徒支援担当より指導講話がありました。その後、各部会からの報告・連絡がありました。



引き続き、氷見市小学校長会より「人材育成と組織力向上の推進 -ICT機器の有効活用を通して-」というテーマで提案発表がありました。

氷見市では、複式学級を含む小規模校が多く、教員の年齢構成にも偏りがあるため、OJTによる若手教員の指導力向上やミドルリーダーの育成に向けて、全小学校が一つの「チーム氷見」となって組織的に取り組んでいます。具体的には、情報共有システムを活用し、児童の気付きを共有したり、業務の効率化や教職員の交流を促進したりすることができる仕組みを構築されました。他校の教員との連携により適切な情報を得たことで、指導へのイメージが変化した若手教員がみられたとのことでした。

その後、6グループに分かれて、氷見市小学校長会の提案を基に情報共有の有効性やそれに伴う留意点について協議を行いました。また、5月に実施した地域間連携アンケート結果に基づいて、暑さ対策やプール開放等について活発な意見交換を行いました。大変学びの多い研修となりました。

